

(8) 農業用水の安定確保について

想定課題

那須地域の中心ともいえる那須野ヶ原一帯は、那須疏水の開削以前は水がなかった地域であり、農業用水の重要性が一段と高い地域である。

このような中で、国会等が移転し都市用水の需要が高まると、農業用水の安定的な確保に支障がでないか。

対応方向

那須地域の水利施設は、慶長年間の暮沼用水に始まり、巻川用水、穴沢用水、山口堀などの旧木の俣用水、そして明治18年の那須疏水の開削という歴史のもとに整備されてきました。

また、一部では地下水により農業用水を賄っているところもあります。

農業用水の確保については、那珂川の水供給可能量から言えば、新都市の生活用水は十分に供給可能であること、また、長期的な水の確保については、水資源開発施設を都市の成熟段階に応じて整備していくことで対応できるものであることから、既存の農業用水の安定的確保に支障はないと考えます。